

# 石田 やすひろ

宮前ガバナンス・市政報告



## 区課題の解決に向けた、石田の視点！ ～宮前区議団令和6年度予算要望～



10月30日、令和6年度予算に対する宮前区議員団要望を、福田市長に行いました。行政は11月上旬にかけて、令和6年度本市予算案を策定するため、市長査定（オータムレビュー）を行っています。宮前区選出議員団は、このタイミングをみはからって、区の地域課題の解決に必要な、令和6年度予算要望を取りまとめます。区議団では、「緊急要望事項」（11項目）と「重要要望事項」（15項目）に分けて提案しました。市長には直接、私からその内の2つの要望を取り上げ、提案しました。

1つは、緊急要望事項として、都市計画道路の整備促進であります。特に、梶ヶ谷菅生線の整備促進を市長に求めました。

鷺沼駅へのアプローチとしての幹線道路である梶ヶ谷菅生線の整備は、「第2次道路整備プログラム」に位置付けられていません。まずは計画に位置付ける必要があります。令和6年度から、鷺沼駅前再開発の整備が始まります。鷺沼駅周辺では、交通渋滞が課題となっています。交通の動脈ともなる都市計画道路の未着手の区間を、一早く整備するべきだと考えています。風通しの良い道路環境を実現すれば、渋滞を減らします。

2つは、重点要望事項に掲げた、令和6年度開催の「全国都市緑化かわさきフェア」の宮前区独自の取組みに対する予算です。令和6年は、川崎市制100周年を迎えます。自民党川崎市議団から求めた結果、フェアの誘致に成功した経緯があります。コア会場として富士見公園、等々力緑地、生田緑地を中心に開催します。期間は、令和6年10月19日から11月17日までと、令和7年3月22日から4月13日までの2回、開催します。残念ながら、宮前区内の公園は、コア会場に含まれていません。宮前区民も、地域でフェアを体感できるように、必要な予算を求めました。例えば、区内にある3駅の駅前広場に、花壇を置くのも一案だと考えます。

宮前区選出議員団の取りまとめた予算要望が予算化され、課題の解決につながる事を期待します。令和6年は、本市の歴史の転換期とも言えます。新時代を切り開くために、市制100周年への架け橋に相応しい予算を組んでいかななくてはなりません。川崎市議会では、令和6年3月に予算議会が開催されます。そこでは、令和6年度予算案が議会に示されます。宮前区の課題解決が図られるよう、議論に努めてまいります。

### プロフィール

元川崎市議会議長、市立犬蔵中学校卒業、明治大学公共政策大学院卒業、現在、監査委員、川崎市議会スポーツ振興議員連盟会長

### ホームページ



### 政務活動事務所

石田やすひろ事務所  
〒216-0035  
住所 川崎市宮前区馬絹6-24-26  
TEL 044-861-6870  
FAX 044-854-0798  
✉ miyamae@ishidayasuhiro.com

## 調査から見た、子どもの学力UP策！ ～全国学力・学習状況調査・川崎市学習状況調査～

令和5年度全国学力・学習状況調査及び川崎市学習状況調査について、市議会の自民党代表質疑で取り上げました。全国学力・学習状況調査は、義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握し、分析しています。そして、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を目的としています。平成19年度から始まり、小学校6年生と中学校3年生を対象に、今年で17回目の調査となりました。本市においては、令和5年4月18日に川崎市立小学校114校、中学校52校、特別支援学校1校で行っています。調査結果は、学習の課題の抽出と課題解決につなげています。教科に対する結果は次の通りです。



小学校の結果では、国語(14問)、算数(16問)を対象に調査しました。本市の国語の平均正答率は70%、全国平均が67.2%でした。本市の算数の平均正答率は67%に対して、全国平均は62.5%となっています。いずれも全国平均を上回る結果となっています。中学校では、国語(15問)、数学(15問)、英語(17問)を対象に調査しました。本市の国語の平均正答率は70%で、全国平均は69.8%でした。本市の数学の平均正答率は53%で、全国平均は51%でした。本市の英語の平均正答率は53%で、全国平均は45.6%となっています。政令指定都市(20市)比較では、小学校の国語では1位の京都市に次いで、本市は2位でした。小学校の算数では本市が1位でした。中学校の国語は10位です。数学では本市が4位、英語は本市が1位となりました。本市の教育水準は、大都市比較で、いずれも高い位置にある事が分かります。

一方、本市独自に川崎市学習状況調査を毎年、行っています。今年度より調査対象を拡充し、小学校4年生から中学校3年生を対象に、令和5年4月中旬に実施しました。「誰一人取り残さない学び」を目指して、小学校4年生から中学校3年生までの6年間の学習状況を経年で把握し、児童生徒の一人ひとりの「分かる」に向けて取り組んでいます。また、調査結果をGIGA端末の学習ソフトと連携させ、学習効果を高めています。今年度の調査結果の総評として「基礎的・基本的な学習内容は概ね身につけているが、資料から情報を読み取り、それらに関連づけて考えたり説明したりすることは課題がある」と、議会答弁しています。

調査結果の特徴は、それぞれの学校によって異なります。各学校が自校の課題を分析し、その結果を学習改善や授業改善につなげています。本市の子ども達の学力は総じて、全国平均に比べて高い水準にあると言えます。しかし、高いからと言ってそれに満足せず、「誰一人取り残さない学び」を標榜する以上、理解が不足する子どもへのアプローチを忘れてはいけません。2種類の調査結果をリンクし、授業力の向上にどう生かすかが今後の鍵となります。引き続き、議会において「一人ひとりの分かる」に向けて議論してまいります。

## 宮前区市道（神木本町）の交通安全対策を！ 請願第10号 文教委員会現地視察



主要地方道子母口宿川原線に面する、神木本町3丁目4番地と4丁目17番地の対面間の道路に、横断歩道及び信号機を設置するなど、交通安全対策の実施を求める内容となっています。文教委員会が所管となりますので、視察後、委員会にて審査する事となります。